



Cure and Care communication

第119号

C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 **びる**
介護老人保健施設 **まいえ**
グループホーム **つばい**



社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所



診療科目

内科
神経科
精神科
リハビリテーション科
歯科

謹賀新

今年も皆々様のこころを大切にさせていただきます。
令和六年 元旦

医療法人ピーアイエー
理事長 中村 友美

- ・ ナカムラ病院は開院 45周年を迎えました 2p
- ・ PIAギャラリー「カレンダー展」 6p
- ・ 観音神社獅子舞の由来 8p



新年のご挨拶

ナカムラ病院開設45周年


あけましておめでとうございます。

昨年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となりました。それに伴い、様々な制約がなくなり日常生活がコロナ前と同じ姿へと戻りつつあります。医療機関、高齢者施設での感染症対策も徐々に変わりつつありますが、依然として感染の流行があり、今後とも気を引き締めて対応してまいります。

さて、新年となり干支も変わり辰年になりました。先日、辰年に関するニュースを見て驚いたことがありました。初めての年男・年女となる2012年生まれ(12歳)の子供は104万人なのに対して、1940年生まれ(84歳)の方々には112万人いらっしゃるそうです。84歳の人口が12歳の人口を上回るとは史上初で、日本の高齢社会もここまで進んできたのだと実感しました。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることで、社会保障費の負担増加や人材不足となることを指摘されていた「2025年問題」は、もうすでに医療の分野では深刻化しております。当院では人材確保のためにベトナムから技能実習生を迎え入れており、本年度も11名の実習生に就業していただく予定としております。また医療・介護のICT化を進めており、昨年度はナースコール機器の更新と眠りスキャンの導入を行い患者様に安心して療養をしていただける環境を整備いたしました。今年度は、電子カルテの導入を予定しており、業務の効率化を計り更なるサービスの向上につなげて参る所存です。

本年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



社会福祉法人 双樹会 理事長
医療法人ピーアイエー 副理事長
中村 貴志

秋のジャズコンサートを開催しました

十月二十八日、プロミュージシャンによる「秋のジャズコンサート」を行いました。この度は素敵なご縁があり、全国で活躍されているサクソ奏者である小濱安浩氏とその仲間のミュージシャンにお越しいただきました。さらに!!ジャズの本場アメリカからゲストとしてジェイトーマス氏も参加してくださいました。

新型コロナウイルス感染症が五類移行となり、昨年の八月から全休行事を再開していましたが、行事の参加は患者さまと入所者さまのみに制限していました。プロミュージシャンの生演奏を聴くことができるせっかくの機会なので、この度は地域の方にもお声がけし想定を上回る大勢の方にお越しいただきました。

紹介と共に颯爽とステージに上がる姿からプロのオーラを感じ、演奏が始まる前からワクワクする気持ちで胸が高鳴りました。いざ演奏が始まると、迫力のあるドラムや心地よい低音が響くウッドベー

ス、繊細なピアノの音色。そして小濱氏とジェイトーマス氏のサクソやトランペット、フルートの多彩な音色に大感動!!グルーブ感のある素敵な演奏に自然と身体がスウイングして、患者さまや地域の方々が手拍子をしていました。私たちにも耳馴染みのある坂本九の「スキヤキ」や入所者さまからの急なリクエストにも即興で応えていただき、コンサートはさらに盛り上がりました。患者さまからも「生の演奏は迫力があってよかった」との声があり、地域の方からも「またこういった機会があれば教えてほしい」とお声がけいただきました。多くの方に喜んでいただくことができ、大盛況の行事となりました。いきいき委員会では、今後も患者さま・入所者さま、地域の皆さまに喜んでいただける行事を企画していきたいと思えます。

ナカムラ病院 地域連携センター

主任 崎内 奈緒



☘認知症カフェだより☘



認知症カフェ「サロンドファミユ」を十二月十五日に開催しました。今回は五日市公民館で初めての開催となりましたが、沢山の方にご参加いただきました。

まず、当院の精神科医師、梶川より「認知症の予防」をテーマに講話がありました。認知症の基礎知識にはじまり、普段の生活で気を付けるポイントなど身近な内容もあり、みなさん真剣に聞かれました。

講話のあとは当認知症カフェ恒例の生演奏の時間です。この日はバイオリン奏者の上野眞樹先生をお招きし、懐かしい童謡やクリスマスソングを中心に演奏していた

いただきました。優雅な音色に心も体もほっこり癒され、師走の慌しさを忘れる時間となりました。

次に当院の男性スタッフで結成された、最近少しずつ知名度が上がってきたアイ・ド・ルグループ、「ピアボーズ」の登場です。お揃いの衣装で颯爽と現れた彼らを初めて見たお客さまからワクワク・ドキドキの歓声がかかる中、メインプログラムの「転倒予防体操」が行われました。

椅子に座ったまま行えるこの体操は、普段意識して動かすことのない足の筋肉やバランス感覚を使う動作が盛り込まれており、お客さまから「効く〜」、「きついね〜」と声が上がりがながらも、イキイキとした表情で取り組む姿が印象的でした。体操が終わる頃にはお客さまもスタップも熱気を帯び、達成感に包まれました。

しかし、これで終わらないのが当認知症カフェ。水分補給を行いピアボーズの十八番、認知症予防体操を「上を向いて歩こう」に合わせて行いました。初見で踊る振付にドギマギする方もいらっしゃいましたが、みなさん最後までノリノリで挑戦していただきました。今回、初めて開催した会場でし

たが、とても一体感のある素敵な時間をみなさんと過ごすことができました。

最後に、彼らは佐伯区民文化センターの舞台を目指して、今後地域の皆さまへワクワク・ドキドキ・ときめきをお届けしてまいります。常連の方も、まだ参加されなかった方も足を運んでいただき、楽しいひと時を共に過ごせたら嬉しく思います。

認知症カフェメンバー にー





現在B7病棟では、二名のベトナム人技能実習生が私たちと共に日々患者様のケアに携わっています。患者様に技能実習生たちのことをもつと身近に感じてもらえるよう、十一月二十八日に、「ベトナムの文化の紹介」という行事を行いました。

まず初めに挨拶や日常会話で使える簡単なベトナム語を紹介しました。紙に書かれたカタカナ表記のベトナム語を繰り返し練習して下さる患者様。次に伝統工芸品の帽子『アンラー』を紹介。日差しが強いベトナムならではの帽子にも「キレイ」「ステキ」など興味を持っていただけました。そして患者様の目の前でベトナムの竹踊りを披露。リズムに乗って踊る姿に「すごいすごいー」「頑張つて」と声を掛けて下さる患者様や手拍子をして下さる患者様もいらっしゃいました。

行事終了後、ベトナムの帽子を被り、日本とベトナムの国旗を手に持つていただき、写真撮影をしまし

た。写真撮影の前後には、「さっきのベトナム語を教えて」「日本は好き？」「好きな料理は？」など話しかけて下さる患者様もおられました。

今回の行事を通して、患者様にベトナムという国に興味を持って頂き、親睦を深める良い機会になったのではないかと感じました。今後患者様が何かに興味を持つ姿を見られる様、そして患者様の楽しそうな表情を引き出せていける様にケアに努めていきたいと思えます。

ナカムラ病院 B7病棟

介護職 伊藤 紗友実



カレンダー展2024



今年もカレンダー展を開催することができました。ギャラリー開設時より毎年開催させて頂いていただき、お陰様で今年が二十三年目となります。

毎年、日頃よりお世話になっている企業の方々にご協力いただき、カレンダーを収集しております。様々な方のご厚意が集まったナカムラ病院ならではのパワースポットです。ささやかながら、抽選による展示カレンダーの贈呈も行っております。

苦難が続く日本ですが、これから先は「龍」の如く上昇気流に乗って、皆さまと共に明るい年にしていければと願っております。

事務部 六田 雄大



十一月九日、秋の風船バレー大会を行いました。いつもはごんまりと行われていますが、秋と言えばスポーツの秋と言うことで皆さんの入所者さまに参加していただきました。どこに行くかわからない風船を車椅子上で打ち返すというのなかなか難しいですが、みなさん笑顔で一生懸命打ち返していらっしやいました。これからもたくさんのかたに楽しんでいただけるように行事を考えていきたいと思えます。

いきいき行事だより

秋の風船バレー大会



介護医療院ひいろB3療養病棟

介護職 藤田 秋恵

いきいき行事ダイジェスト

10月

- 秋の大運動会(にぎや家)
- 秋の大運動会(まいえ2)
- バスケット大会(まいえ1)
- 運動会(つばい)
- ハローウィン(B5)
- ハローウィン(B7)
- 秋のジャズコンサート(全体行事)
- 売店(陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ほほえみ・ふれあい】(陽光の家)
- 郷土料理【宮崎】(陽光の家)



11月

- 秋の風船バレー大会(B3)
- 秋を感じて楽しむ(A3)
- カルタ大会&ギター演奏会(まいえ2)
- 音楽会(まいえ1)
- 果物狩りゲーム(にぎや家)
- ベトナムの文化紹介(B7)
- おやつレク【ほほえみ・ふれあい・いこい・つどい】(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 郷土料理【岐阜】(陽光の家)



12月

- クリスマス会(全体行事)
- クリスマス会~サンタとトナカイ玉入れ大会~(B5)
- クリスマス会(B4)
- クリスマス会(まいえ2)
- クリスマス会・忘年会(まいえ1)
- クリスマス会(B1)
- クリスマス会(B7)
- にぎや家にサンタクロースがやって来た!(にぎや家)
- クリスマス会(つばい)
- おやつレク【ほほえみ・ふれあい・いこい・つどい】(陽光の家)
- 忘年会(陽光の家)
- 売店(陽光の家)
- 郷土料理【茨城】(陽光の家)



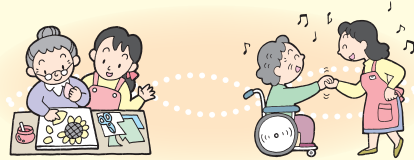
ピーアイエー理念

我々グループは幸齢社会を創ります

我々グループは、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、残りの人生を安心して幸福に送って頂ける環境を提供します。

看護・介護の理念

我々看護・介護職は、患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って安心・安全な療養生活ができる看護・介護を提供します。



広島市委託事業

佐伯区 認知症初期集中支援事業

認知症の症状などでお困りごとありませんか？

- 治療を受けさせたいが本人が拒んでいる
- 症状が強くて対応に困っている
- 介護サービスを利用したいが、どうしたら良いかわからない



医師・看護師など、医療・介護の専門家チームが自宅訪問します

ご相談は、お近くの
地域包括センターへ

この地域独特のもので、獅子に頭をかまれると「福」が来ると言われています。

広島市観音神社獅子舞の由来と現在の新型コロナウイルスインフルエンザの感染症流行には通ずるところがありますね。獅子舞に疫病をかみくだいてもとで、今年はいくさま健康に過ごしましょう。



「広島市観音神社の獅子舞は二百年以上の歴史があると伝えられています。その頃、瀬戸内帯に疫病が伝染し困っていたのか、獅子舞を行うと疫病を追い払いかみくだいてくれるといううわさが広がり、獅子舞の巡行をしました。

それから各地に獅子舞が流行したようです。昭和二十年後半に舞われなくなりましたが、観音御遷座千百年を迎えるにあたり、地域の伝統芸能である獅子舞を復活させようという気運が高まり、有志が集まって観音神社獅子舞保存会を半世紀ぶりに復活させました。

令和五年十二月十六日にナカムラ病院に広島市観音神社獅子舞保存会の皆さまがお越しくださいました。四年ぶりの獅子舞となりましたが、改めて広島市観音神社獅子舞の由来についてご紹介します。由来は観音神社獅子舞保存会さまにお聞きしました。

「観音神社獅子舞の由来」

令和五年十二月十六日にナカムラ病院に広島市観音神社獅子舞保存会の皆さまがお越しくださいました。四年ぶりの獅子舞となりましたが、改めて広島市観音神社獅子舞の由来についてご紹介します。由来は観音神社獅子舞保存会さまにお聞きしました。

観音神社獅子舞の由来



今月号の表紙のご紹介

毎年ナカムラ病院の入口には大きな門松が飾られます。元来、門松は年神様への目印として飾られてきた歴史があります。もちろんその目的は現在も同じですが、季節を感じるシンボルともなっていると感じます。

門松を見ると新年を迎えたことを実感しますよね。さて、今月号はそんな門松を表紙の写真に選んでみました。

地域連携センターデイケア部門

主任 中森 一宏



編集後記



新年を迎え、我が家のカレンダーも新しいものに替えました。カレンダーは、贈答品としていただいた物や、自分で選んだものなど色々ありますね。写真や絵画、イラストなど数えきれないほど豊富なデザインがあります。

本誌六ページにはナカムラ病院で開催しているカレンダー展を掲載しています。月が替わることに違った写真やイラストを見ることが出来るカレンダーは、ちょっとした美術館ですね。

(編集長)